

おうし座おし



☉ 4月21日～5月21日がっ にち がっ にちう たんじょうせいざ生まれの誕生星座

☆ 実際に見える季節→冬じっさい み きせつ ふゆ

◎ おうし座には、ヒアデス星団や「すばる」と呼ばれるプレアデス星団があります。
星団があるので、古代からさまざまな国で注目され、星の神話もたくさんあります。

おうし座の神話

古代ギリシャより500年ほど前、テウロスという国が栄えていました。

テウロスの王女エウロパはとても美人で、大神ゼウスは彼女のことを大変気に入りました。そして、ゼウスは白い牛に化けて、エウロパに近づきました。

海辺でその牛を見つけたエウロパは、牛にうながされるまま背に乗りました。すると、牛は走り出し、海を泳いでいき、クレタ島に到着しました。

ゼウスとエウロパの間には、3人の子どもが生まれ、記念に星のシャンデリアとして「おうし座」を作ったと言われています。

☆ 星座の絵に
色を塗ろう！

参考文書 神話 「小学館の図鑑NEO 星と星座」

誕生星座の月日 「星の手帖社 パノラマ版こども星座図鑑」

※資料等によって内容が異なる場合があります。